

市障害者福祉センター
からのお知らせ

WITH

～ウィズ・・障害のある人と共に～

失語症の人を対象にした「いちごの会」 を紹介します

「いちごの会」は、失語症と診断を受けた人が、失語症会話パートナーとの交流（会話）を楽しむ場です。失語症の人と失語症会話パートナーが1対1のペアになって、会話や新聞・地図といったものを活用したやりとり等を行います。

最後には全員で今日話したことを共有する時間を設けています。

「いちごの会」のやりとりでは、参加した皆さんの「伝えたい」と「知りたい」思いがあふれています。

活動日：毎月第1・3火曜日

場 所：市総合会館3階

対 象：四日市市在住で失語症と診断を受けた人

参加費：無料

備 考：参加希望者は事前にご連絡下さい。

言語聴覚士がお話をお聴きします。



1対1で話が
できるよ！
ここに来ると
楽しい！

「失語症」って？

「失語症」は脳の言語中枢が損傷を受けたことで起こる言語障害です。脳出血や脳梗塞の後遺症の一つで、心理的、精神的な要因となることはありません。話し言葉だけでなく、「聞く」「読む」「書く」「計算」等が出来にくくなり、程度の差があるものの、言葉が思うように操れず、それまでのコミュニケーションが難しくなります。

相談してみませんか？

障害者福祉センターでは失語症の人やご家族、身近に失語症の人がいらっしゃる人の相談を受け付けています。

失語症のことで困っていることなどがあれば、ぜひご相談下さい。



お問い合わせ 四日市市障害者福祉センター
電話：354-8275 ファクス：354-8426
E-mail：y-with@m3.cty-net.ne.jp

土日、祝日、年末年始はお休みです。

心あたたまるご寄付ありがとうございました

みなさまからご寄付をいただきました。
ここに厚くお礼申し上げます。



・小林卓夫様・小山田温泉ヘルシークラブボランティア賛助会員一同様・北納屋町大師寺御詠歌講寒行出仕者一同様・棋友会様・公益社団法人 四日市市シルバー人材センター様・J S R ビジネスサービス(株)様、(株)ジャパンビバレッジホールディングス様
・大師之寺中金剛講四日市支部講員一同様・大和ハウス工業株式会社 四日市支社様・三重北農業協同組合 代表理事組合長 萩隆様・やまびこ代表 水谷ちづる様・ユニー(株)“小さな善意で大きな愛の輪”運動 アピタ四日市店店長 橋口尚令様、ピアゴ阿倉川店店長 浜田恭寿様、ピアゴ久保田店店長 水谷秀幸様・六交リーグ 古市弘和様・楽園倶楽部様
(平成31年1月31日～令和元年5月27日)

寄付者のメッセージ

四日市市社会福祉協議会には、地域の皆さんや企業・団体等から社会福祉のための「ご寄付」が寄せられます。このコーナーでは寄付者のご寄付についての思いを紹介させていただきます。



小林卓夫さん

私は、四日市市社会福祉協議会の活動に賛同して、約20年間毎月寄付を続けています。

2年前に他界した妻と「人のお役に立てることが幸せ、何か世の中の役に立ちたい」と話し合っ、地域福祉を推進している社協への寄付を始めました。少しでも四日市の福祉の役に立てていくことが喜びで、これからも続けていきたいと思っています。

「社協だより かけはし」に掲載する広告を募集します！

お問い合わせ：市社協 総務課 電話：354-8265

コピー・プリンター・パソコン
ネットワークなど
システム機器の導入は、
三重県下納入実績豊富な
弊社にご相談ください。



トータルオフィスプランナーとしてシステムを構築しています！
YJC
株式会社 四日市事務機センター

〒510-0891 三重県四日市市日永西2-18-7

tel.059-346-5411

四日市事務機センター

http://www.yj-c.co.jp

検索

yjc@yj-c.co.jp



広告



社協だより

かけはし

発行

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

四日市市諏訪町2番2号

電話 059-354-8265

ファクス 059-354-6486

E-mail

y-syakyo@m5.cty-net.ne.jp

令和元年6月20日発行

第147号

特集

『認知症の人などにやさしいまちづくり』

を一緒に考えませんか

65歳以上の4人に1人が認知症または、その予備群と言われ、自分の身近なこととして考える時代になっています。認知症の人やその家族、地域のためにできることを一緒に考えてみませんか。



認知症カフェ「ほんわカフェ」参加の皆さん

四日市市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らしつづけることができる『福祉のまちづくり』」を目指して、地域の皆さんと協力しながら地域での福祉活動を進めていきます。

四日市市社会福祉協議会ホームページ
<https://yokkaichi-shakyo.or.jp/>

四日市市社会福祉協議会

検索



社協だよりかけはしでは、地域の皆さんの声を届けられる様今号より一部リニューアルしました。

特集『認知症の人などにやさしいまちづくり』と一緒に考えませんか

四日市市全体で「認知症の人などにやさしいまちづくり」に取り組んでいます。その一部を四日市市社会福祉協議会でも担っています。



四日市市中地域包括支援センター

認知症サポーター養成講座



認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく学び、理解のある仲間をつくるための講座です。

地域の皆さんや企業・団体等、様々な人が受講しています。

認知症サポーターになったら…

実際に地域で活動したい人のために、「認知症フレンド養成講座」を開催しています。

受講した人は、「認知症フレンド」と呼ばれ、認知症カフェや認知症関連のイベントに参加していただけます。



お問い合わせ

四日市市中地域包括支援センター

電話：354-8346 ファクス：354-8326

E-mail: yonsya@cty-net.ne.jp

担当地域：橋北、中部、川島、神前、三重、県、桜、久保田一・二丁目

認知症サポーター養成講座や認知症カフェは四日市市の各地で行なわれています。興味のある方は、各地域包括支援センター、四日市市役所高齢福祉課まで。

四日市市北地域包括支援センター

電話：365-6215 ファクス：365-6216

E-mail: kitahou@tomidahama.jp

担当地区：富洲原、大矢知、羽津、海蔵、八郷、下野、保々、富田

四日市市南地域包括支援センター

電話：328-2618 ファクス：328-2980

E-mail: minami-h@normari.jp

担当地区：塩浜、楠、常磐（久保田一・二丁目除く）、日永、四郷、内部、河原田、小山田、水沢

四日市市役所高齢福祉課

電話：354-8455 ファクス：354-8280

E-mail: koureifukushi@city.yokkaichi.mie.jp

楠在宅介護サービスセンター ゆりかもめ

認知症カフェ「ほんわかカフェ」

認知症カフェとは、認知症について相談や学習が出来る交流の場で、ゆりかもめでは月1回ほんわかカフェを開催し、職員や地域のボランティアがスタッフとして運営しています。



ボランティアスタッフ 諏訪さん

同じ地域に住んでいる人と話ができて楽しいです。
また、参加者や職員と認知症や介護の話をする事ができて勉強になります。

介護などの相談できる仲間が来ました。

職員の人も親切で、困った時に相談が出来てありがたいです。



ほんわかカフェ参加の皆さん

次回の開催は7月10日(水)です。詳細は下記までお願いします。

お問い合わせ

楠在宅介護サービスセンターゆりかもめ

電話：398-2000 ファクス：397-6861

E-mail: kusu2000@m2.cty-net.ne.jp



四日市市社会福祉協議会
中地域包括支援センター
認知症地域支援推進員
長嶋 絢子

まずは認知症について正しく知っていただくことが、大切です。
気軽にカフェや講座に参加いただくことが、まちづくりの第一歩につながります。
ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

市協情報

四日市市社会福祉協議会からのお知らせ

平成31年度予算の概要

収入	項目	決算額
収入	受託金収入	5億6,816万円
	介護保険収入	1億9,250万円
	障害福祉サービス事業収入	4,559万円
	補助金収入	1億8,329万円
	収益事業収入	4,255万円
	共同募金配分金収入	2,873万円
	会費・寄付金収入	847万円
	前年度繰越金充当	3,748万円
	その他の収入	1億2,034万円
	合計	12億2,711万円

支出	項目	決算額
支出	介護保険関連事業	3億2,703万円
	障害者関連施設等管理運営事業	3億6,288万円
	地域福祉活動事業	2億9,247万円
	高齢者、児童、母子・父子施設等管理運営事業	2,542万円
	法人運営事業	1億6,344万円
	その他の事業	5,587万円
	合計	12億2,711万円

平成30年度決算の概要

収入

項 目	決 算 額
受 託 金 収 入	5億9,856万円
介 護 保 険 収 入	1億8,117万円
障害福祉サービス事業収入	4,108万円
補 助 金 収 入	1億7,168万円
収 益 事 業 収 入	4,000万円
共 同 募 金 配 分 金 収 入	2,982万円
会 費 ・ 寄 付 金 収 入	1,163万円
そ の 他 の 収 入	9,974万円
合 計	11億7,368万円

支出	項目	決算額
支出	介護保険関連事業	3億5,010万円
	障害者関連施設等管理運営事業	3億3,016万円
	地域福祉活動事業	2億3,135万円
	高齢者、児童、母子・父子施設等管理運営事業	1,847万円
	法人運営事業	1億4,858万円
	その他の事業	5,189万円
	合計	11億3,055万円

*収支差額は次年度へ繰り越します。



平成30年度 サマーチャレンジ

会費のご協力ありがとうございます

皆さんからいただきました
四日市市社会福祉協議会会費は、地域福祉の推進のため、地域の福祉活動支援や福祉ボランティアのまちづくり事業などの財源に充てさせて

いただきました。ご協力ありがとうございました。
令和元年度も皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

一般会員(個人・世帯)

……1口 500円(年額)

団体会員(自治会・団体・施設・企業等)

……1口(500円)以上(年額)

(自治会は原則1世帯15円)

《会費(寄付金)には 税制上の特典があります》

所得税	●所得控除(寄付金控除) 寄付者のその年分(1月～12月)の課税対象となる所得から、該当する額が控除されることをいいます。 税額＝(所得金額－所得控除額)×税率 所得控除額＝寄付金額(総所得金額等の40%を限度とする額)－2,000円 ●税額控除は適用不可となります。
法人税	損金算入限度額があります。

母子・父子福祉センター サークルのご案内

～リフォームサークル会員募集!!～

当センターでは、母子家庭のお母さん、寡婦の人の生きがいや、ふれあいの場としての自主サークルを支援しています。

現在、5サークル(編物、手芸、書道、和裁、リフォーム)が活動しており、今回リフォームサークルの会員を若干名募集します。

日時：木曜日(月2回)13:00～15:00

場所：市総合会館4階 技能習得室

対象：母子家庭の母または寡婦



お問い合わせ

四日市市母子・父子福祉センター

電話/ファクス：354-8277

E-mail: b-f.center@yokkaichi-shakyo.or.jp

三療学術講習会のご案内

三療(はり・きゅう・マッサージ)を仕事としている視覚に障害のある人が、技術向上をめざします。日々の仕事に生かしてみませんか。

日時：8月22日(木) 13:30～15:30

1月23日(木) 13:30～15:30

場所：四日市視覚障害者福祉センター

対象：市内在住で、視覚に障害があり、「はり・きゅう・マッサージ」

(三療)を仕事としている人

定員：20名

参加費：無料

その他：座学・実技の演題、講師は未定



お問い合わせ

四日市視覚障害者福祉センター

電話/ファクス：354-5549

福祉車両が寄贈されました

5月22日(水)に障害者自立支援施設たんぽぽで、利用者やボランティアの人に参加してもらい、日本財団の福祉車両助成事業による福祉車両のお披露目式を行いました。

渥美たんぽぽ所長は「送迎サービスを安心・安全に実施し、利用者様とご家族の地域生活を支援したいと思います。」と感謝の言葉を述べました。

ご協力いただきました、関係者の皆さん、本当にありがとうございました。



お問い合わせ

障害者自立支援施設たんぽぽ

電話：322-5567 ファクス：321-8561

E-mail: tanpopo@m5.cty-net.ne.jp